Uninterruptive Ink Supply System

UISS-12 取扱説明書

はじめに

この度は、アンインタラブディブインクサプライシステム「UISS-12」（以降、本装置と称します）をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書（特に裏面の警告 / 注意事項）をよくお読みになり、本装置を安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

1. 本装置について

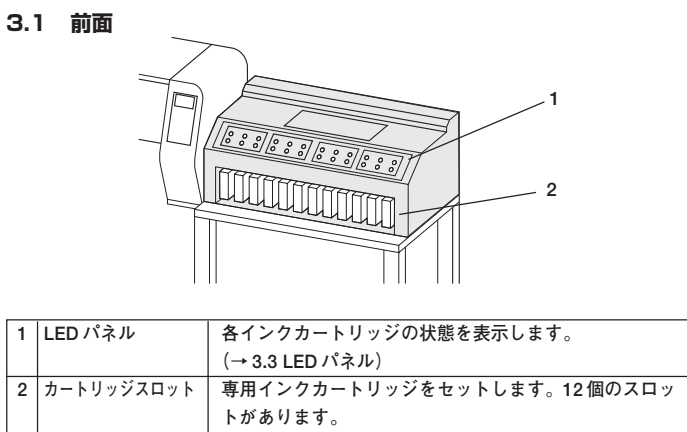
本装置は、JV3 シリーズを長時間連続してインクを供給する装置です。
インクカートリッジごとに設けられたバルブを自動的に切り替えることによって、３個（JV3- Sシリーズでは４個）のインクカートリッジを連続して使用できます。また、バルブが閉じているインクカートリッジは、作画中でも交換することができます。
本装置は、プリンター本体の両側に１機ずつ（左ユニット / 右ユニット）取り付けます。ユニットごとに、４つ（JV3-S シリーズでは３つ）のインク供給経路があります。

2. モデル構成

本装置のモデルと対応機種を示します。

モデル名	対応機種
UISS-12-SP4	JV3-SP シリーズ　4 色モデル
UISS-12-SP6	JV3-SP シリーズ　6 色モデル
UISS-12-S6	JV3-S シリーズ

3. 各部の名称・機能

本装置各部の名称・機能を説明します。

3.1　前面

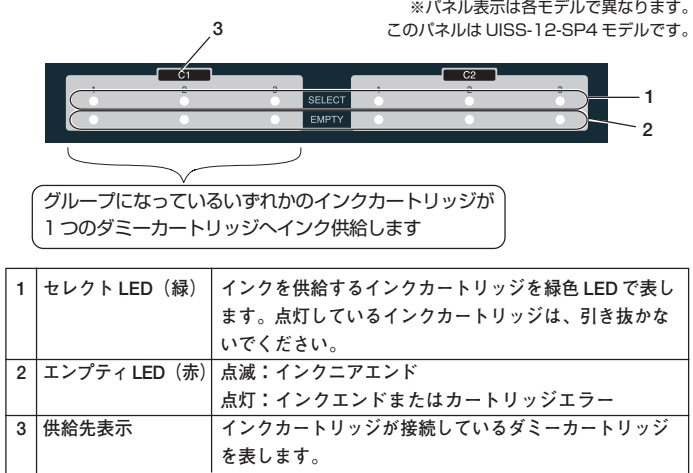
1	LED パネル	各インクカートリッジの状態を表示します。（→ 3.3 LED パネル）
2	カートリッジスロット	専用インクカートリッジをセットします。12 個のスロットがあります。

3.2　背面

1	AC インレット	同梱の専用電源ケーブルを接続します。
2	電源スイッチ	本装置の電源スイッチです。常に ON にしてください。
3	ダミーカートリッジカバー	ダミーカートリッジを保護するためのカバーです。サービスマンの指示以外では取り外さないでください。
4	ダミーカートリッジ	プリンタ本体のインクステーションにセットしてインクを供給します。また、プリンタ本体が本装置を制御します。モデルによって 4 個または 3 個あり、通常はダミーカートリッジカバー内にあります。

3.3　LED パネル

※パネル表示は各モデルで異なります。
このパネルは UISS-12-SP4 モデルです。

1	セレクト LED（緑）	インクを供給するインクカートリッジを緑色 LED で表します。点灯しているインクカートリッジは、引き抜かないでください。
2	エンプティ LED（赤）	点滅：インクニアエンド 点灯：インクエンドまたはカートリッジエラー
3	供給先表示	インクカートリッジが接続しているダミーカートリッジを表します。

4. インクカートリッジの交換について

エンプティ LED が点灯しているインクカートリッジは、早めに交換してください。すぐに交換できない場合は、インクカートリッジを引き抜かずに、交換準備ができてからインクカートリッジを交換してください。

★ カートリッジスロットを長時間空いたままにしないでください。装置内でインクが固まるなど、インク供給に支障をきたす場合があります。

★ １つのダミーカートリッジにインク供給する全てのインクカートリッジ（同じグループ内）がインクエンドになると、作画を停止します。通常は、１つのインクカートリッジの残量が無くなっても、次のインクカートリッジに切り替えて作画を続けます。

★新たに装着するインクカートリッジがニアエンド付近の場合、インクの供給に支障をきたす場合があります。

<交換手順>

① エンプティ LED（赤）が点灯しているインクカートリッジと同色インクカートリッジを用意します。
　※ エンプティ LED が点滅している場合（インクニアエンドの場合）、インクエンドまでは使用可能です。自動的に他のインクカートリッジに切り替わります。

② セレクト LED（緑）が消灯していることを確認し、インクカートリッジを引き抜きます。

③ 新しいインクカートリッジを差し込みます。

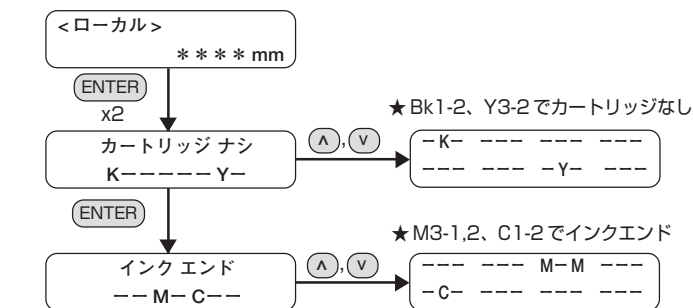
5. プリンター本体の表示について

プリンター本体 LCD および RIP ソフトウェアで表示するインク残量は、インク供給中スロットのインクカートリッジを表示します。
（JV3 取扱説明書 /RIP ソフトウェア取扱説明書を参照してください。）

<本装置のインクカートリッジで発生したエラーを確認する場合は>

① ローカルモードで（ENTER）キーを押します。

② UISS 上で発生したエラーの内容、カートリッジ内の確認ができます。
（エラー内容は、JV3 取扱説明書を参照してください。）

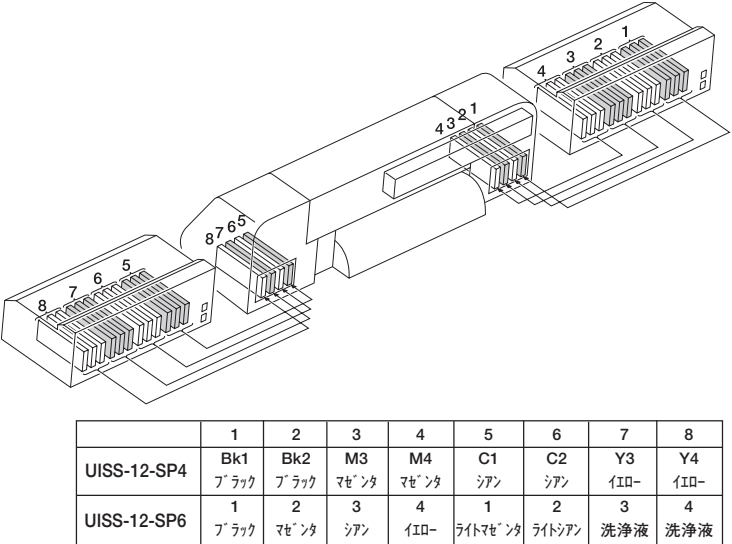
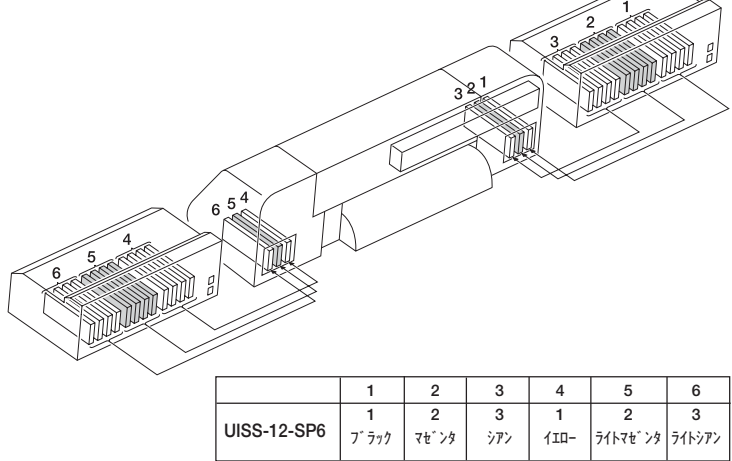
例）UISS-12-SP4 接続時のエラー

6. インクステーション接続図

本装置とプリンター本体の接続を示します。

6.1　JV3-SPシリーズモデル <UISS-12-SP4/UISS-12-SP6>

	1	2	3	4	5	6	7	8
UISS-12-SP4	Bk1 ﾌﾞﾗｯｸ	Bk2 ﾌﾞﾗｯｸ	M3 ﾏｾﾞﾝﾀ	M4 ﾏｾﾞﾝﾀ	C1 ｼｱﾝ	C2 ｼｱﾝ	Y3 ｲｴﾛｰ	Y4 ｲｴﾛｰ
UISS-12-SP6	1 ﾌﾞﾗｯｸ	2 ﾏｾﾞﾝﾀ	3 ｼｱﾝ	4 ｲｴﾛｰ	1 ﾗｲﾄﾏｾﾞﾝﾀ	2 ﾗｲﾄｼｱﾝ	3 洗浄液	4 洗浄液

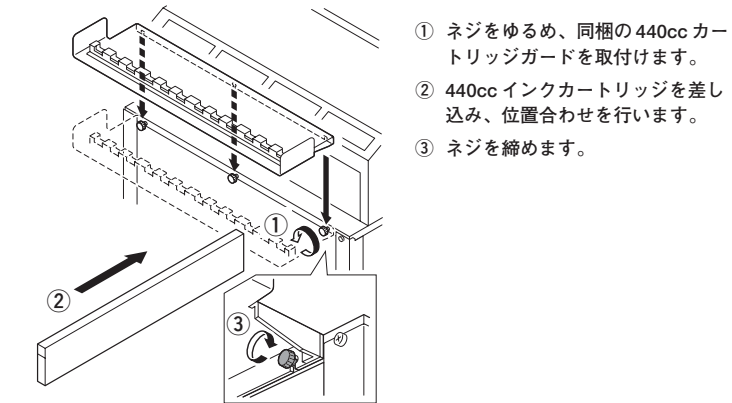
6.2　JV3-S シリーズモデル <UISS-12-S6>

	1	2	3	4	5	6
UISS-12-SP6	1 ﾌﾞﾗｯｸ	2 ﾏｾﾞﾝﾀ	3 ｼｱﾝ	1 ｲｴﾛｰ	2 ﾗｲﾄﾏｾﾞﾝﾀ	3 ﾗｲﾄｼｱﾝ

7.440cc インクカートリッジを使用する場合は

本装置で 440cc インクカートリッジを使用する場合は、必ず 440cc カートリッジガードを取り付けてください。

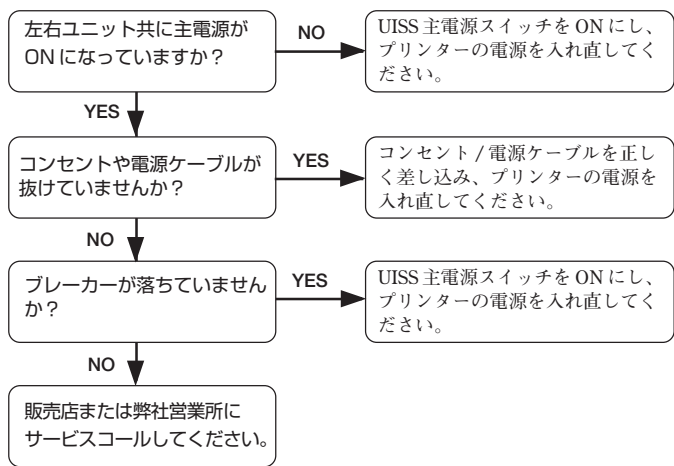
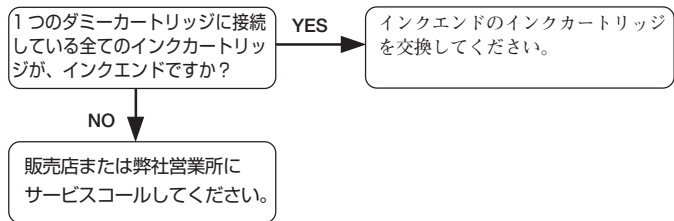
① ネジをゆるめ、同梱の 440cc カートリッジガードを取付けます。

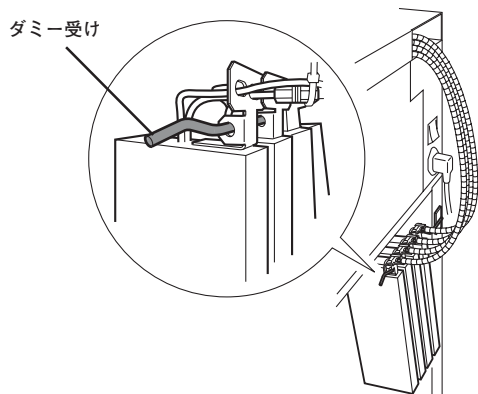
② 440cc インクカートリッジを差し込み、位置合わせを行います。

③ ネジを締めます。

8. 制限事項

本装置を取り付けた状態で、[ヘッドセンジョウ] はできません。
また、本装置を取り付けた状態で、[インクセット]を変えることはできません。
上記の作業を行う場合は、本装置を取り外す必要があります。販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

9. 故障かな？と思ったら

★プリンターのLCDに[UISS(RIGHT)]または[UISS(LEFT)]というメッセージを表示し、動作しない。

★作画できない（作画がスタートしない）

10. ダミーカートリッジを使用しない時は

ダミーカートリッジを使用しない時は、下図のようにダミー受けにかけておきます。この作業は、サービスマンの指示で行ってください。

11. 仕様

モデル名		UISS-12-SP4	UISS-12-SP6	UISS-12-S6
使用環境	使用可能温度	20 ～ 35℃		
	相対湿度	35 ～ 65%Rh（結露なきこと）		
適合規格		UL, VCCI-ClassA, FCC-ClassA, CE マーキング , CB レポート		
電源		100 - 240V ± 10% 50/60Hz		
消費電力		70 VA 以下（1 ユニットあたり）		
外形寸法 (mm)		約 696(W)x626(D)x1091(H)（1 ユニット、ダミーカートリッジ部含まず）		
重量		約 40 kg （1 ユニット、インク未充填時）		

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。
各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げています。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げていますです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告 / 注意事項

⚠ 警　告

インクの取り扱い

引火性

★ 本装置で使用する専用インクは、危険物第４種類第２石油類、または危険物第４類第３石油類に該当します。引火する可能性があるため、本装置を使用する際は火気厳禁としてください。

★ 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。

★ 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は飲み込まないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。

★ インクは 有機溶剤を使用しています。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

分解・改造はしない

★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造（インクの詰替え）は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

湿気の多い場所では使用しない

★ 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生

★ 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は絶対に行わないでください。

電源・電圧について

★ 表示している電源仕様で使用してください。また、電源ケーブルのプラグは、必ず別系統のアース処理したコンセントに差し込んでください。電源使用を間違えると、火災・感電の原因になります。

電源ケーブルの取り扱い

★ 付属の電源ケーブルを使用してください。

★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり加熱したりひっぱたりすると、電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 注　意

本装置について

★ 本装置は、JV3 シリーズ専用です。

★ 本装置は、片側ユニットのみでは動作しません。

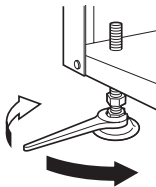
★ 全てのインクを本装置からプリンタへ供給するため、全てのダミーカートリッジをプリンタへセットしてください。

★ 本装置を使用しない時も、インクカートリッジを本装置のスロットにセットしておいてください。カートリッジをセットしていないと、本装置の針やチューブ内のインクが固まり、出力できない原因になります。

電源供給について

★ ブレーカーは常時オンにしておいてください。背面にある電源スイッチはオフにしないでください。オフにすると、プリンタ本体がエラーになり、定期クリーニング等が正常に行えません。

レベルフットの調整

★ 必ず、レベルフットを固定してから作図してください。
固定しないで作図すると、装置が動きだす場合があります。

専用インクをお使いください

★ JV3 専用のインク以外は使用しないでください。JV3 専用インク以外のインクでは、装置保護のため、動作しません。

★ JV3 専用のインクは、他のプリンターで使用しないでください。プリンターが壊れます。

インクカートリッジについて

★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上室温環境下に放置してから使用してください。

★ カートリッジは、取付直前に開封してください。
開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。

★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。

★ カートリッジは、開封してから３ヶ月以内に使い切ってください。
開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。

★ 専用インク以外は使用できません。

★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。

★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジ内からインクが漏れる場合があります。

★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

★ 本装置は、UL1950 もしくは UL6950　4.4.8 項に該当します。装着するインクカートリッジの合計が、5000cc を超えないようにしてください。440cc カートリッジ９本と 220cc カートリッジ３本までが装着可能です。

★ カートリッジスロットは、インクカートリッジ交換時以外、常にインクカートリッジが装着されている状態にしてください。長時間、インクカートリッジ未装着のカートリッジスロットは、インクの供給に不具合が発生し、作画不良を起こす可能性があります。

設置場所の注意　- 以下のような場所には設置しないでください -

⚠ 注 意	
直射日光が当たる場所	水平でない場所
温度や湿度の変化が激しい場所 次の環境下でご使用ください。 温度：20 ～ 35℃ 湿度：35 ～ 65%(Rh)	振動が発生する場所
エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本書が解説する製品は、使用時に高周波が発生します。このため、不適切な条件下で本装置を設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本製品の電源を切ってください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- 本製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

D200991-1.00-07062004